

会 議 名	第3回港区放課GO→クラブしろかねのおか運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和元年11月21日（木） 14時から15時30分まで
開 催 場 所	高輪地区総合支所4階会議室
委 員	出席者 6名 阿部委員、秋山委員、岩崎委員、野澤委員、野上委員、伊藤委員
事 務 局	高輪地区総合支所管理課 佐藤課長、施設運営担当 永吉、出口
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議題審議 議題1 第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）について 議題2 運営事業者候補者の決定について 3 閉会
配 付 資 料	[席上配布] 資料1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）方法について 資料2 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）表 資料3 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）評価用メモ 資料4 第一次審査集計表

会議の結果及び主要な発言

事務局	1 開会 事務局より本日のスケジュールについて説明
委員長	2 議題審議 議題1 第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）について （事業者Aによるプレゼンテーション実施） それでは、これからヒアリングに入ります。限られた時間ですので、質問への回答は簡潔明瞭をお願いいたします。
委員A	施設長候補者ご自身の教員の経歴をもとに、教えてください。教員と港区放課GO→クラブの施設長としての子供との関わり方の違いと、教員の経歴を生かし、重視したいことは何ですか。
A事業者	子供との関わり方として、教員は教科を教えることが最優先です。港区放課GO→クラブは遊びを通じて子供と接することができます。両方の経験から私としては、遊びから入ると子供と関係性を築きやすいと感じております。 生かしたい教員の経験について、教員時代は、同じ校内に音楽科と普通科が

	<p>ありました。違う科が報告・連絡し合い、様々なことを進めた経験があります。港区放課GO→クラブは、学校施設を借りるため、必ずお互いの状況や、子供の様子を報告し合うことが大事だと思います。</p>
委員B	<p>今までの施設長経験において、一番困難を感じたことはありますか。その経験を踏まえ、港区放課GO→クラブしろかねのおかでどのような運営をしたいと思いますか。</p>
A事業者	<p>一番困難だと感じたことは、学校と連携し、母親から虐待されていた子供を児童施設に送ったことです。子供と親を離すことは、本当に心が痛い経験です。しかし、子供の命を守ることが一番ということを肝に命じ、対応しました。児童虐待をなくすためには、子育てにおいて保護者の孤立を防ぐこと、周囲が児童相談所に通告できる勇気を持つことが大事だと思います。</p>
委員C	<p>白金地区の地域性と、白金の丘学園の特色をどうとらえていますか。</p>
A事業者	<p>また、港区放課GO→クラブの活動内容の充実のために、学校とどのように打合せをすることを考えていますか。</p> <p>白金地区は、昔からある庶民的な一面と、新しく子育て世代が入っている一面があります。その違う面にいる方々をどう融合させていくかが大きなポイントになります。私たちは地域のお祭りへの参加や、相撲大会の開催を通し、新しく住民となった子育て世代の方や、地域の方、サポーターの方が、顔を合わせ、相互にコミュニケーションを取れる場を作りたいと考えます。</p> <p>白金の丘学園の特色は、小中一貫教育をしており、小学生も中学生もいることです。その点を配慮し、活動を企画します。活動内容充実のための打合せとして、企画で空き教室や体育館をお借りするときには必ず小学校の校長・副校長先生の許可を得、必要に応じて近隣の方にも許可を取ります。</p>
委員D	<p>施設長候補者の施設長経験は何年ありますか。</p>
A事業者	<p>今年で3年目です。</p>
委員D	<p>今まで施設長をされた施設では何人ぐらいお子さんがいますか。</p>
A事業者	<p>学童クラブで80名です。学童クラブ以外の利用者を合わせると、大体300人ほどです。</p>
委員D	<p>今までの経験の中で、施設長の役割では何が一番重いですか。</p>
A事業者	<p>一番は子供との関わり、その次が保護者との関わりです。</p>
委員D	<p>子供との関わりの中で、一番あなたが注意し、心がけていたことは何ですか。</p>
A事業者	<p>まず、子供の心を傷つけないことです。言葉遣いも、上から押し付けるのではなく、子供と同じ目線で話をするよう気をつけております。</p>
委員D	<p>体育館という言葉が出ましたが、体育館、アリーナを活用した子供の大会での経験は、子供にとって誇りになると思うのですが、施設長候補者のご意見はいかがですか。</p>
A事業者	<p>アリーナを利用した地域運動会のように、地域の方と幼稚園から中学生までの子供たちを交えて、催し物ができればいいと考えます。</p>
委員E	<p>港区放課GO→クラブは、学童クラブと放課GO→があるので、非常に人数が多いなか、危険性やリスクへの対応を聞かせてください。</p>
A事業者	<p>テーマを変えて、毎月避難訓練を実施し、その成果を公表します。一例ですが、不審者が入口から入ってきたと想定し、決めた合言葉のときは、番号1から逃げるといった訓練をします。帰りの会でも、子供たちに平日頃から緊急時の</p>

委員E	<p>対応について話をする事で万が一に備えます。</p> <p>今の話では、取り立てて日々のリスクはあまり考えておらず、いざという時のための避難訓練と不審者対策をしているように聞こえます。日々の危険は殆どないのですか。</p>
A事業者	<p>日々の危険はあります。例えば部屋の中にある段差では、子供たちが躓いてけがをすることがあります。その箇所について、日頃より声かけや掲示物などで注意喚起をしております。</p>
委員F	<p>事故防止の視点でのおやつの話がありました。学童クラブでのおやつの提供における食育への工夫は、何かありますか。</p>
A事業者	<p>例えば、みかんをおやつに配るなら、「ビタミンCが沢山入っているので、風邪をひかないから、食べるようにしよう」という説明をします。嫌いな食べ物でも皆と一緒にであれば、雰囲気食べる子もいます。食べて「おいしい」という経験をして苦手な食べ物を克服できる子がいます。おやつの内容は、子供たちからも意見を聞き、挙がった要望をすぐに実行するようにしています。</p>
委員B	<p>特別な支援を要する児童がいた場合、どのようにお子さんに配慮しますか。また、その保護者とどういう連携をとりますか。</p>
A事業者	<p>例えば肢体不自由で援助を必要とする場合、他の子供たちとの接触に気をつけるための支援員を1人つけます。参加を希望する企画には、子供の意思を尊重し、可能な限り参加への後押しをします。保護者には事前に説明を受け内容を見てもらうことにより、話し合いを進めます。</p>
委員長	<p>それでは、時間となりましたので、プレゼンテーション及び質疑を終了いたします。</p> <p>(A事業者退席)</p> <p>(B事業者によるプレゼンテーション実施)</p>
委員長	<p>それでは、これからヒアリングに入ります。限られた時間ですので質問への回答は簡潔明瞭にお願いいたします。</p>
委員A	<p>学校が併設のため、中学生ボランティアの育成に取り組みたい、とありました。中学生ボランティアの受け入れのタイミング、活動内容の想定を聞かせてください。また、施設長候補者の方の経歴の中で、成功事例があれば教えてください。</p>
B事業者	<p>中学生の定期試験終了後、夏休みなどの学校休業日などを想定しています。4～6年生が少し自分たちより年上と一緒に遊ぶことは、非常に楽しく、魅力的です。また、小学生との関わり合いは、中学生にとっても有益です。白金の丘学園は小中一貫校のため、ぜひ実施したいと思います</p>
委員A	<p>一緒に何か遊ぶイメージですか。</p>
B事業者	<p>一緒に体を動かす、何かを作る、ダンスを教えるなど、ボランティアの中学生と相談して決めます。中学生が、クラブ活動や習い事などで身に着けた、自分が得意とすることを児童に教える機会も設けたいと思います。</p>
委員B	<p>施設長候補者が学童クラブ、類似事業を運営する中で一番困難を感じたことと、その経験を踏まえてこの施設でどう対応していきますか。</p>
B事業者	<p>困難と感じたことは、全体への配慮が必要な児童への関わり方です。指示が</p>

	<p>通りにくく、興奮し手が出ることもありましたが、声掛け方法などを職員で共有しました。また巡回の専門家による勉強会をしました。その結果、クールダウンスペースを作るなど、特性に合う対応にしたことで、児童が生活の中で過ごしやすく楽しげな姿が見られました。それはとてもよかったと思っております。港区でも配慮が必要な児童が、放課GO→及び学童クラブにいるため、今までの経験を生かしながら、職員で共有し、子供たちの特性をより理解し、対応したいと思っております。</p>
委員C	<p>1つ目、白金地区の地域性をどうとらえていますか。2つ目は、白金地区の地域性を生かし、事業にどう反映させますか。3つ目、中学生ボランティア以外に白金の丘学園と連携し、何かを行う予定がありますか。</p>
B事業者	<p>白金地区は、非常に落ち着いた住宅地であり、在日外国人が多く住む国際的な地域でもあると思っております。港区放課GO→クラブにも、国際的なバックグラウンドをもつ子供たちがいると思っております。子供たちが多様性を楽しみ、互いに認め合うことのできる事業展開を考えております。保護者の方の協力のもと、様々な国の文化を子供たちに体験させたいと思っております。</p> <p>小中一貫校は珍しいですが、まずは小学校との連携が基本です。私たちは、放課後の子供たちを見る立場ですが、子供は学校にいる時間帯も放課後も同一人の子供です。港区放課GO→クラブと学校で連携をとるため、学校公開、発表会など保護者の一員のように学校での子供の過ごし方を拝見したいと思っております。</p>
委員D	<p>施設長候補者は、利用者が何名程度の施設で施設長をされましたか。</p>
B事業者	<p>小学校の中に入っている一体型の施設や、児童館内の施設を経験しました。現在は、小学校内の学童クラブとの一体型の施設におり、100人程度の児童が来ています。</p>
委員D	<p>子供間のトラブルの経験について教えてください。</p>
B事業者	<p>低学年が遊びをしていた時に、どちらが先にとったかというトラブルが多いです。それに対し、受け持つ職員がお互いの言い分を聞き、思いを代弁し、橋渡しをします。</p>
委員D	<p>高学年に対しては施設長の役割がより増すと思っております。高学年に対する姿勢、お考えを聞かせてください。</p>
B事業者	<p>大勢の子供たちがいるので、ルール違反などには、職員が話した後に、私が再度話をします。けが等の危険を伴うことは十分に話をし、併せて保護者にも伝えます。</p>
委員E	<p>職員配置では、責任者が港区放課GO→クラブ、サブリーダーが学童クラブと担当が分かれています。小規模の施設なので、この職員配置は珍しいと思われました。これは、法人が運営している一体型施設の効果的な配置なのですか。</p>
B事業者	<p>港区放課GO→クラブは、活動する面積が大きいので、広い視野を持つ一番ベテランが統括することを考えました。学童クラブに配置する副責任者もベテランですので、統括不在時も副責任者だけで運営できる人材を考えております。</p>
委員E	<p>比較的若い施設長候補者なので、職員の年齢構成によっては運営が難しいと思っております。マネジメントに関する抱負、職員の年齢構成を教えてください。</p>
B事業者	<p>年齢、男女構成が非常に大切です。施設長に若いうちに抜擢し、施設長経験</p>

<p>委員F B事業者</p>	<p>は6年と、研鑽を積んでおります。現在の施設でも彼女より年上の支援員が多くおり、年上の支援員のマネジメントにも、配慮ができる人材です。</p> <p>エリアリーダー制度について、エリアの範囲、施設の数をお教えください。</p> <p>1行政単位、10施設程度で1人エリアリーダーを置きます。港区全域で1施設しかない場合、近隣区と合わせて1つのエリアにします。</p>
<p>委員F B事業者</p>	<p>もし港区放課GO→クラブしろかねのおかを担当した場合に、一番近いエリアと移動時間を教えてください。</p> <p>近隣は渋谷区、大田区です。大田区内で20施設、渋谷区内で4施設あります。それぞれにエリアリーダーがおり、共同になります。移動する時間は長くありません。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、時間となりましたので、プレゼンテーション及び質疑を終了いたします。</p> <p>(事業者B退席)</p> <p>(採点・休憩)</p>
<p>事務局</p>	<p>【議題2 指定管理者候補者の決定について】</p> <p>採点集計結果について説明</p>
<p>委員長 委員A</p>	<p>各委員の皆様から講評をお願いし、内容を審議します。</p> <p>A事業者は、安全管理、連携について、具体的なイメージが答えられていなかったため、施設長の経験が浅いと感じる部分がありました。提案書がとてもいい内容だったために少しギャップを感じました。</p> <p>教員の経歴を生かした教員との連携のとり方、活動に生かせる要素があるものの、ヒアリングでそれを伝え切れていないことを少し残念に感じました。</p> <p>外国籍の子供・ご家族への対応は施設長候補者に海外経験があるということで、今後期待できると感じました。</p> <p>B事業者は、施設長候補者以外の方が主に返答する印象が強いものの、事業者として課題も把握していると感じました。地域特性に合わせた安全管理、災害時の対応等は提案書では捉えていたものの、ヒアリングでは補えていない印象を持ちました。本部のバックアップは、期待できると思いました。</p> <p>総合的にはB事業者を評価いたしました。</p>
<p>委員B</p>	<p>A事業者の施設長候補者の教師経験、働きながら子供を保育園に預けていた経験から保護者の気持ちがわかる点、海外経験から得た異文化への理解について評価しました。</p> <p>提案の実現性について、組織として研修を位置付けています。1日3回のミーティングにおいて、職員の意見を聞き子供に関することを見逃さない工夫があります。活動内容は、工作、書道など地域の方の協力を求めるなど、非常にバランスがよいと感じました。</p> <p>安全に関しては学校との連携をベースにし、帰りの会やアレルギー対策に安定的に対応できると思えます。</p> <p>ただし、学童クラブと港区放課GO→クラブを一施設で実施することへの配慮に関する質問への返答が少しずれていたことが気になりました。</p>

B事業者は、放課G0→と学童クラブを一体的にやる中で、子供たちに対して隔てなく効果を上げることについて、理念・方針・目標を系統立てた説明をした点を評価しました。施設長候補者が困難を感じた点として、支援を必要とする子供への関わりを少し丁寧に挙げていたので、1次審査よりも少し高く評価しました。

研修体制は、非常に良いと感じました。組織として教育や虐待の専門指導があり、より良い人材を育成する姿勢や現場力を高めるための改善レポートの集約がよいと感じました。

しかし、日々の運営について、全体的にややマニュアル指向性が高いため、A事業者と比較して点数を低くしました。

A事業者は、事業への様々な配慮、活動の充実について、よく考えていると思いました。本部の活用も示されていました。

施設長候補者は教職経験、スポーツ経験、外国在住経験などを生かし、児童の活動の充実を最優先に考えています。事業推進のため、打合せを綿密に行うこと、地域の特性や白金の丘学園の特性をよく踏まえ、活動しようとする姿勢がよいと思いました。下校時、おやつなどへの安全確保の取組や、校長・副校長との連携体制の計画はよく考えられていると思いました。

B事業者は、多様な事業をグループ全体で運営しており、一般論としてはよいとは思いますが、白金地区の特性の理解が不足しており、やや不安に感じました。

施設長候補者は現在の施設に比べ、多数の児童の受け入れへの考え方が不明確であると感じました。また、施設長候補者が回答することが少なかったです。

提案書は明確でしたが、実現性に疑問を持ちました。安全確保、保護者との連携は可能であるものの、人数が非常に多く、全員への対応が未知数と感じました。

以上から、私はA事業者を高く評価しました。

この2社は差がつけにくいと感じました。

大きな違いとして、B事業者の施設長候補者が紙を読み上げていたこと、具体的な質問になると施設長候補者以外が答えたことが目立ちました。しかし、B事業者の施設長候補者は、A事業者よりも、管理的でなく、子供と一緒に動くことができる人材であるように感じたため、差をつけにくくなりました。

B事業者には療育・DVなどの専門家がいます。多数の児童の中で該当の児童のみに集中できないものの、現代社会における児童福祉施設としての意欲的な取組と評価しました。

A事業者は、地域に対する明確な具体性がありました。また、A事業者の施設長候補者の方が、安定感がありました。

第1次評価ではA事業者に高い評価をしましたが、第2次評価では、A事業者の施設長候補者は、質問が三つ四つぐらいになると、最初の質問が明確に答えられませんでした。緊張されていたのかもしれませんが。安全安心において、日々の危険性を聞いたところ、避難訓練や不審者と、一般的な話をしていました。施設長候補者についてはやや劣ると評価し、全体的にも評価を下げ、及第点にしました。

B事業者についても、施設長候補者にいいと思える部分が見られず、普通と

委員C

委員D

委員E

委員F	<p>評価しました。放課 G0→と学童クラブの職員配置を分け、担当する事業を理解した職員配置と考えると、施設長候補者の評価の差が、全体的に影響しました。そのため、B事業者の方を評価しました。</p> <p>A事業者は、過去の経験に裏付けされた安定感・安心感が説明の随所に見えました。安全対策に関しては、提案書に具体的な記述が多かったものの、本日は施設長候補者が、冒頭から相当緊張しており、質疑応答も定型的な印象を持ちました。しかし、質問の端々には、様々な経験に裏打ちされた自信も少し見えました。安定感・安心感は児童にとって大切だと思いましたので、比較した結果、A事業者を評価しました。</p> <p>B事業者は、本部の方は対応も明確で、わかりやすい組織であり、職員はよく鍛えられている印象を持ちました。ただ、施設長候補者は、プレゼンの練習はされてきてはいたものの、質疑応答には少し不安を感じました。</p>
委員長	<p>点数の修正はございますか。</p>
委員D	<p>A事業者の②施設長候補者の項目の、15点を20点に修正します。</p>
委員E	<p>A事業者の②施設長候補者の項目の、10点を15点に修正します。</p>
委員C	<p>B事業者の①運営に対する姿勢の、15点を20点に修正します。</p>
委員長	<p>それでは、第一次審査・第二次審査合計点数及び順位を発表します。</p> <p>1位 A事業者 第1次審査982点、第2次審査480点、合計 1462点、</p> <p>2位 B事業者 第1次審査828点、第2次審査445点、合計 1273点</p> <p>港区放課 G0→クラブしろかねのおか運営事業候補者は1位のA事業者でよろしいでしょうか。また、第一回の委員会で確認した通り、今回決定した候補者に何らかの事情があり資格を喪失した場合、次点、2位のB事業者が繰り上がって運営事業候補者とするのでよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>(承諾)</p>
委員長	<p>それでは、当委員会として、港区放課 G0→クラブしろかねのおか運営事業候補者をA事業者と決定します。</p>
	<p>3 閉会</p>